



協会サイト

- 被爆78周年長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典
- 長崎国際平和映画祭2023
- 青少年ピースフォーラム
- 県外原爆・平和展
- 平和案内人全体会
- 第38回長崎平和音楽祭
- 追悼平和祈念館「開館20周年記念事業」
- 会員の広場
- TOPICS!(外国人による日本語弁論大会来場者募集 ほか)
- 共催・後援事業報告
- 「ナガサキの郵便配達」朗読と音楽で紡ぐ平和への想い
- ICU学生サービス・ラーニングの受け入れ
- 平和学習発表会
- 被爆場所等で語る被爆証言映像「8月9日の記憶」上映会
- 被爆78年ナガサキ原爆写真展
- 平和の文化関連(ラウンジコンサート ほか)
- 平和案内人育成講座(受講者募集)



台風6号による影響のため出島メッセ長崎で開催された平和祈念式典
写真提供:長崎市

被爆78周年長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典 台風で60年ぶりの屋内開催

8月9日、被爆78周年長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典が開催されました。台風6号の本県接近に伴い、会場を平和公園から出島メッセ長崎に変更し、参列者の皆様の安全を第一に考え、主催者(長崎市)のみの縮小開催となりました。

午前11時2分の黙祷後、鈴木史朗長崎市長による「長崎平和宣言」が読み上げられ、核抑止への依存からの脱却と核兵器禁止条約の署名・批准を求めました。また、被爆者代表の工藤武子さんが「平和への誓い」を述べました。

今回、被爆者や遺族、長崎県知事、岸田文雄首相や過去最多となる予定だった核保有国6か国を含む89か国の大使らは出席できませんでした。

岸田文雄首相から寄せられたビデオメッセージでは「核兵器のない世界の実現に向け、核軍縮の進展に向けた機運をより一層高めていく」との決意が示されました。また、国際連合のアントニオ・グテレス事務総長の挨拶が代読されました。

式典では、7月末までの1年間に亡くなられた3,314人の名前を記した原爆死没者名簿3冊が奉安されました。これにより、原爆死没者数は19万5,607人となりました。



鈴木史朗長崎市長



被爆者代表 工藤武子さん



長崎市原爆死没者名簿

(写真提供:長崎市)

共催・後援事業報告

8月9日の長崎原爆の日に合わせて行われた様々なイベントに対し、当協会では支援を行いました。8月の共催・後援事業は下記のとおりです。

- 【共催】・第38回長崎平和音楽祭(長崎平和音楽祭実行委員会)
 - ・長崎国際平和映画祭2023(国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館)
- 【後援】・第70回長崎原爆忌平和祈念俳句大会(第70回長崎原爆忌平和祈念俳句大会実行委員会)
 - ・第61回原爆忌文芸大会(NPO法人長崎国際文化協会)
 - ・結ぶproject-ニューヨーク平和祈念公演(一般社団法人東京ビジュアルアーカイブス)
 - ・第5回長崎平和祈念茶会(長崎平和祈念茶会実行委員会)
 - ・国連80周年記念プロジェクト・キックオフin長崎~「第九」演奏会(株式会社LOCAL2/国連認定NPO Martial Arts Academy)
 - ・「平和の祈り キッズゲルニカinながさき」(国際子ども平和壁画展 長崎親善人形の会(瓊子の会))
 - ・被爆78年連合2023平和ナガサキ集会(日本労働組合総連合会)

「長崎国際平和映画祭2023」 子ども平和映画祭を開催

祈念館では、8月18日から19日にかけて、原爆資料館ホール、平和学習室、祈念館交流ラウンジを会場として、「長崎国際平和映画祭2023」子ども平和映画祭を開催しました。

今回の映画祭は開催日を夏休み期間中とし、人気絵本作家・宮西達也さんの「ティラノサウルス」シリーズ「おまえうまそうだな」を両日で3回上映、中国・ハルビンから引き揚げてきた実話に基づく「えっちゃんのせんそう」、アフガニスタンを舞台に家族を養うために少年の姿となった少女の物語「ブレッドウィナー」を19日に各一回ずつ上映しました。3本とも子どもが親しみやすいアニメとし、未来を築く子どもたちに、友情や家族の絆、人権を尊重することの大切さや、戦争による悲劇を知ることによって平和の尊さを伝えました。

オープニングでは歌手・上奥まいこさんのミニコンサートや、平和学習室ではチンドンかわち家さんによる平和かみしばい、ちぎり絵体験「ちぎり絵で恐竜・翼竜ポストカードを作ろう」を催しました。

また、サイドイベントとして祈念館交流ラウンジで「お手玉の会」による昔遊びを実施しました。

連日多くの子どもたちに参加いただき、来年度以降もぜひ継続的に開催してもらいたいとのご意見もたくさんいただきました。

祈念館としても、来年度以降も開催していくこととして、内容の充実と積極的なPRを図っていきたいと考えています。



会場の様子

「ナガサキの郵便配達」 ～朗読と音楽で紡ぐ平和への想い～を開催

8月26日、長崎原爆資料館ホールで「ナガサキの郵便配達」～朗読と音楽で紡ぐ平和への想い～を開催しました。

このイベントは、郵便配達中に被爆し、背中に大火傷を負った谷口稜暉氏(2017年逝去・当協会継承部会に長年所属)の被爆体験を基に、元イギリス空軍大佐でその後作家となったピーター・タウンゼント氏が書いた書籍『ナガサキの郵便配達』の朗読と、同書をテーマとした組曲を演奏するコンサートが行われました。

コンサートでは、組曲を作曲したクラシックギタリストの佐藤洋平氏、長崎OMURA室内合奏団のメンバーによる弦楽アンサンブルと長崎県新人演奏会でグランプリを受賞された中村卓士さんのピアノによるスペシャルアンサンブルが演奏されました。また、青少年ピースボランティアや県内高校の放送部による同書の朗読を通して、谷口さんの被爆時の様子や心情が伝えられました。

心に染みわたる朗読と、スペシャルアンサンブルとギターの調べを通して、谷口稜暉さんの平和への想いを観客の皆様にお届けすることができました。





青少年ピースフォーラム 台風の影響で8日のみ開催



全国の青少年が長崎で被爆の実相や平和の尊さを学ぶ「青少年ピースフォーラム」を、8月8日に開催し、全国11自治体とブラジル・サントス市から集まった約160人が交流を深めました。

例年は、8月8日・9日の2日間開催していますが、台風6号接近のため、8日のみに変更となり、参加予定だった25自治体220人も派遣中止となりました。

そのような中、築城昭平氏の被爆体験講話を聴講後、AコースとBコースに分かれて学習しました。

Aコースでは、平和会館ホールで原爆について基礎的な学習や戦時下の疑似体験、追悼平和祈念館や原爆資料館周辺で、こぢんまりフィールドワークを実施しました。

Bコースは、平和公園・浦上天主堂・山王神社の各ルートに分かれ、小雨の降る中、被爆建造物等を巡りました。

また4年ぶりに交流会を実施し、参加者と青少年ピースボランティアが食事をしながら、交流を深めました。

60人の青少年ピースボランティアが実施内容を企画し、当日も進行役や被爆建造物等のガイドとして運営を担いました。

参加者からは、「青少年ピースボランティアの方々の丁寧な説明のおかげで、今まで自分が知らなかったことを印象強く知ることができた」などの感想が寄せられました。

(青少年ピースフォーラムは、長崎市からの委託事業です)



司会もピースボランティア!



追悼空間で黙とう



被爆体験講話を話す
築城昭平さん



雨の中のフィールドワーク

国際基督教大学 サービス・ラーニングの受け入れ



ピースフォーラムの会場で鈴木史朗長崎市長とお会いしました!

国際基督教大学の久世実子さんと相澤陽香さんが、大学の教育プログラム「サービス・ラーニング」の一環として活動を行いました。7月11日から8月10日、長崎原爆資料館、被爆建造物等を巡り、その他施設見学、長崎大学の講義受講などを通して、原爆・平和や長崎の歴史・文化などについて知識を深めながら、若者で構成される青少年ピースボランティアとともに活動し、青少年ピースフォーラムの運営にも参加しました。

およそ1カ月の間、平和および原爆に対する考え方を知り、平和とは何か、原爆とどう向き合うべきかなどについて考える機会となりました。





京都府・東京都・埼玉県で県外原爆・平和展を開催



7月下旬から8月にかけて、3都府県で「県外原爆・平和展」を開催しました。各会場には、長崎原爆資料館所蔵の被災資料や写真、パネルなど数十点を展示し、一部の会場では被爆瓦のタッチコーナーや図書・映像コーナーなども設けました。

また、大型の被爆前後の比較写真や、爆心地周辺を捉えた幅3mのパノラマ写真なども展示。来場者からは「原爆の被害の重大さを実感した。見るだけで心が痛んだ」「現地に行けなくても、このような学びができる機会が身近にあつて嬉しい」「我が子を連れてまた来たい」という声が寄せられました。

その他、写真資料調査部会員による展示解説や、継承部会員による被爆体験講話会も開催しました。京都府・埼玉県の会場は満員となりました。東京都では若年層の聴講者が目立ち、直接聴く被爆者の声に真剣な面持ちでした。
(県外原爆・平和展は、長崎市からの受託事業です)



会場の様子



開催場所	会期	来場者数
京都府福知山市	7/26～8/9	556人
東京都千代田区	8/1～8/15	811人
埼玉県三郷市(2会場)	8/3～8/16	4,141人

平和学習発表会を開催 中学生が日頃の 平和学習について発表



8月18日、「平和学習発表会」を開催しました。平成18年度から実施している「平和学習発表会」は、長崎市内の中学生が一堂に会し、日頃取り組んでいる平和学習の成果などの発表をとおして、各学校における生徒の平和への取り組みを発展させる機会となっております。

今年も、市内の中学校30校から86人の生徒が参加、各学校での平和への取り組みについて発表し、他校の発表を聞いての感想や意見を交わしました。また、青少年ピースボランティアから高校生になったらできる平和活動について発表がありました。

参加者からは「各学校で様々な取り組みが行われていて、このように交流することで平和に関する情報や考え方が知れてよかったです」「平和の大切さを世界に広げていくため、どのような取り組みをした方が良いか選択肢が増えた」「平和を発信する方法はたくさんあり、少しでも平和を広めることができるように活動したい」といった感想が寄せられました。

(平和学習発表会は、長崎市からの受託事業です)

被爆場所等で語る被爆証言映像 「8月9日の記憶」上映会



築城 昭平氏

早崎 猪之助氏



森田 博満氏

門 隆氏

7月9日、被爆証言映像「8月9日の記憶」上映会を開催しました。
令和4年度に撮影した築城昭平さん、早崎猪之助さん、森田博満さん、門隆さん（4人の映像を上映した後、それぞれに登壇いただき、ご挨拶をいただきました。そのうち早崎さんは4月に亡くなったため、遺族による挨拶となりました。）
「8月9日の記憶」はYouTubeでこれまでに撮影した12人分を公開しています。特にこの数カ月で多くの方にご覧いただいて再生回数が増え、コメントも増えてきています。
当協会では、今後も撮影数を増やし、被爆の実相と平和の大切さを伝えていきます。



YouTube
二次元コード

被爆前の日常の写真から学ぶ 平和案内人 全体会



6月25日、原爆資料館ホールで平和案内人全体会を開催しました。
今回は長崎大学核兵器廃絶研究センター特任研究員の林田光弘さんに「デジタルアーカイブを活用した被爆体験の継承活動」と題して、継承に関する現状と課題、ウェブサイトを「被爆前の日常アーカイブ」事業を通じて見えてきたことなどをお話しいただきました。被爆前の日常生活を知ること、当時と現在の生活の共通点を見つけ、繋がっていると感じて共感できることを感じましたよつです。
ウェブサイト「被爆前の日常アーカイブ」は、下記の二次元コードからご覧いただけます。



写真資料調査部会主催 被爆78年ナガサキ原爆写真展 深堀好敏名誉部会長回顧展



7月24日～8月10日、追悼平和祈念館の交流ラウンジで写真資料調査部会による写真展が開催されました。会場には、投下前のファットマンの前で作業する米軍兵士などの写真約40点と、今年ご逝去された深堀好敏名誉部会長の功績を辿る展示が行われました。
回顧展は、深堀さんと共に写真資料調査部会で活動してきた草野優介さんが企画し、当時の活動の様子などが展示されました。
来場者のなかには生前、深堀さんと親交のあった方たちもおり、当時の出来事を思い出しながら写真を見る姿が見受けられました。

音楽部会が参加 第38回長崎平和音楽祭



8月5日、長崎原爆資料館ホールで長崎平和音楽祭が開催されました。第38回目の今年は「いのちの灯をともしあう音楽で熱いエールを贈ります。」がテーマ。
恒例のカタロニア民謡「鳥の歌」の演奏からはじまり、テノール歌手が歌声を響かせ、「世界に一つだけの花」や「長崎の鐘」を音楽部会員含むメンバーが歌った他、オーボエやギターなどの演奏や、愛と平和の歌も朗読されました。
音楽祭を通して、命の尊さや平和を訴え、国や言語や文化を超えて人々の心をつなぐこともできることを伝えてくれました。

国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館「開館20周年記念事業」

1 スーザン・サザード氏の記念講演会 「ナガサキを語り継ぐ」～過去、現在、そして未来へ～



平和の文化

「ナガサキ～核戦争後の人生」の著者で、アメリカのノンフィクション作家スーザン・サザード氏による講演会を開催します。著書の中に描かれている被爆者5人の「長い戦後」について、被爆者の方々の努力に敬意を払い、そして振り返り、それをどう未来へ引き継いでいくか、永遠の会の朗読を交えながら日本語でお話しいただきます。ぜひご来場ください。



日時 10月22日(日)11:00～12:30

会場 原爆資料館ホール (入場料無料・申込不要)

2 2023被爆体験記企画展 被爆者5人の人生 語り部たちの「長い戦後」

アメリカのノンフィクション作家スーザン・サザード氏の著書「ナガサキ～核戦争後の人生」の取材中に撮影した5人の被爆者の写真も含めて、著書に込められた想いを伝える被爆体験記企画展を開催します。

開催期間 10月22日(日)～11月1日(水)

※初日は14:30から開会セレモニーを行います(スーザン・サザード氏も同席されます)

展示会場 追悼平和祈念館 交流ラウンジ (入場料無料)



平和の文化

「平和の文化キャンペーン」イベントのお知らせ

長崎市が開催する9～11月の「平和の文化キャンペーン」に関連して、当協会でも下記のとおり、

イベントを開催します。是非、ご来場ください。

イベント名	日時	会場
ラウンジコンサート 「Music Garden Pray&Play」	9月30日(土)、10月21日(土)、11月18日(土) 14:00～15:00	追悼平和祈念館 交流ラウンジ
国連軍縮週間 市民のつどい	10月28日(土) 10:00～13:00	原爆資料館前 階段下広場
森田孝子書道展 「平和への願いを書に託して」	11月3日(金)～11月7日(火) 10:00～17:00(最終日は12:00まで)	追悼平和祈念館 交流ラウンジ
国際交流部会主催 「国際交流のつどい」	11月11日(土) 10:00～11:30	追悼平和祈念館 研究室

No. 26

お便りを お寄せください!

平和推進協会では、会員の皆様よりお便りを募集します。会報をご覧になってのご意見、ご感想、お便りなど、会員の皆様の声をお寄せください。投稿いただいた声は、広報委員会を経て、「会員の広場」で会報「へいわ」に掲載させていただきます。投稿は300字以内でお願いします。また、匿名の投稿はご遠慮ください。

事務局長 田川尚美

長崎県音楽連盟

「音楽と平和」
長崎県音楽連盟
は、昨年より長崎平和推進協会様との共催で、ラウンジコンサートを企画・実施しています。会場は、追悼祈念館の交流ラウンジ、コンサート名に「ミュージックガーデン」というタイトルを付けました。高い天井まで届く大きな窓、そこから差し込む光に包まれ、この場所での演奏は特別な緊張感があります。演奏者も、お客様も、そしてスタッフも、同じ空間で「心が紡ぎ出す音」に包まれます。

「平和だから音楽があるのですよ。」これは、音楽連盟前会長のお言葉です。その想いを引き継ぎ、今年度も一音、一音を大切にお届けし、長崎平和推進協会の皆様の活動に少しでも寄与したいと思えます。皆様もどうぞ会場にお出かけください。



Peace Wing Nagasaki
会員の広場



TOPICS! へいわトピックス

第8期 平和案内人育成講座を開講します

被爆の実相と平和の尊さを伝える「平和案内人」の育成講座を開講します。
講座日程等は、下記の通りです。



- 期 間 11月25日(土)～令和6年3月9日(土)
- 時 間 火曜日18:30～20:00、土曜日13:30～16:30(原則)
※火曜日のみ、土曜日のみのお出席は不可
- 講座回数 全15回 ※修了するためには、12回以上(うち3回は必修講座)のお出席が必要
- 場 所 原爆資料館平和学習室ほか(長崎市平野町7-8)
- 応募資格 満15歳以上(中学生は除く)で、令和6年5月からの平和案内人活動(ボランティア)に参加できる方
※18歳未満、または高校生の場合は、保護者の署名が必要
- 申込方法 所定の申込用紙に必要事項を記入し、郵便・FAXのいずれかで送付
詳しくは協会ウェブサイトをご覧ください
- 申込締切 10月31日(火)当日消印有効

詳細は
こちらから ▶



外国人による日本語弁論大会 一般来場者募集

長崎県に住む外国人が「外国人から見た日本・平和・国際交流」をテーマに、日本語でスピーチを行います。外国人から見た日本や地域社会について知り、さらなる国際理解を深めませんか? ご来場の事前申し込みは不要です。皆様のお越しをお待ちしております!

日時:10月14日(土)13:30～16:00

場所:追悼平和祈念館 地下2階 交流ラウンジ(長崎市平野町7-8) 入場無料

※詳しくは、(公財)長崎県国際交流協会(TEL:095-823-3931)までお問い合わせください。

V・ファーレン長崎ピースサポーター活動報告

サッカークラブ「V・ファーレン長崎」は、被爆地・長崎をホームタウンとするクラブとして、創設時からサッカーを通じて平和な世界へ寄与することを掲げて活動されています。

今回、ピースサポーターとして、8月19日(土)の

V・ファーレン長崎VS栃木SCを応援に行きました。(結果は1-2)

今後も当協会は、V・ファーレン長崎を応援していきます!



世界の核弾頭の数

	ロシア	米 国	中 国	フランス	英 国	パキスタン	インド	イスラエル	北朝鮮	合計
2023年 6月1日	5,890	5,244	410	290	225	170	164	90	40	12,520

長崎大学核兵器廃絶研究センター (RECNA) 提供 <https://www.recna.nagasaki-u.ac.jp/>

寄附者紹介

ありがとうございます

(敬称略)

◎白鳥 純子 一万円

◎山中 弘幸 一万円

◎LIBEREAレスラフユキト 四千元

◎桢田 悦子 千円

◎匿名 二千元

皆様から寄せられた香典返しや退職祝返しなどのご寄附は、平和推進事業の貴重な財源として、活用させていただきます。

会員数報告

◎維持会員 1,063名

◎賛助会員 176名

◎学生会員 44名

令和5年9月15日現在

賛助会員(団体法人)の一覧は協会ホームページに掲載しています。
ご支援ご協力誠にありがとうございます。
会員拡大にも協力をお願いいたします。

会費納入のお願い

当協会の活動は皆さまの会費に支えられています。

今年度まだ会費を納めていただけていない方は、何卒趣旨をご理解いただき、先にお送りしている払込票により最寄りの郵便局またはコンビニエンスストアで納入ください。よろしくお願いいたします。

お支払いいただいた会費は、源泉所得税の税額控除の対象になります。詳しくは当協会ホームページをご覧ください。か、事務局までご連絡ください。